

P-NPOSIP2009 NPOマーケティング研修

「農家活性・地域振興」モデル構築プロジェクト
地方自治体を中心とする各地域といかに連携し、
農家活性・地域振興を実現するか

2009.11.28

REFARM
NPO法人農家のこせがれネットワーク
理事 事務局長 銀鏡 佳
インターン生 廣田 雄紀

現状分析(1) 課題における弱み(負のスパイラル)



現状分析(2) 課題における強み

- ・理事のつながり(既存のネットワーク)
- ・業界の注目度・認知度が高い
>各種メディア掲載
- ・農業関係者とのネットワークが強い
>メルマガ会員2500名中農家・こせがれ500名
>全国での設立発表会開催
東京、関西、九州、中国、四国、北海道・・・
- ・農業実験レストラン「六本木農園」OPEN

ターゲット

- ・少子高齢化
 - ・過疎化
 - ・名産品がない
 - ・主産業が農業
- これらの条件が当てはまる地方自治体・中山間地域

EX)65歳以上の割合が3割以上の自治体
420自治体/1817自治体(2005年国勢調査時点)

- 農家:経営基盤がまだ脆弱である新人・若手農家
生活者への直接販売を希望している農家
- 都市生活者:食や農業に関心の高い生活者

サービス内容

「パートナーシップファーム」
モデル構築プロジェクト

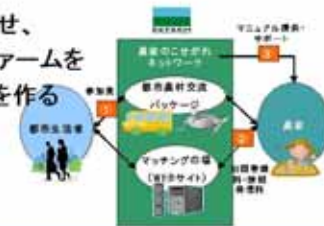
パートナーシップファームとは・・・農家と生活者がパートナーシップを結び、相互に連携・発展していくことを狙うプロジェクト。
農家のこせがれネットワーク版CSA。

CSA(Community Supported Agriculture)とは・・・動には「地域で支える農業」という意味だが、最近では生活者や販売者などが、生産者と連携あるいは生産者を支援し、自分たちの食糧生産・確保に自分たちも積極的にかかわる、という形の農業を意味することが多い。生活者はおいしくて出所のはっきりした安全な食料供給を受ける代わりに、その農地・農家を資金面・そのあらゆる面で支援する。農家もそれに応えるべく良い農産物を作ることと専念する。農家の最大の懸念である天候不順による不作などの経営リスクも共有する。

サービス内容(1)

「パートナーシップファーム」

- ・意識の高い生活者の母集団を作る
- ・参加農家を集める
- ・両者をマッチングさせ、
パートナーシップファームを
成立させる仕組みを作る



サービス内容(2)

「体験型
都市農村
交流事業」

- ・レストランイベント
- ・地域農家訪問
- ・若手農家向け
研修プログラム
などの企画・実施

マーケティング施策

◆各地域といかに連携していくか

- ①各地での講演活動を通じた啓蒙
- ②外部パートナーとの協働による実績レポート・営業ツールの制作
- ③既存のネットワークを活用した営業活動

◆生活者の集客をどのように行っていくか

- ①プロモーション:ウェブサイト、メルマガ、広告などで告知
- ②ファンづくり
 - A) 農家のファンづくり
ファーマーズマーケット、六本木農園などにおけるPR活動により、特定の農家のファンをすることによって、集客する
 - B) REFARMのファンづくり
REFARMの活動に共感してくれる生活者を増やしていくことによって、集客する。つまり実績を積み重ねていく
- ③CSAへの理解を訴える
生活者に対し農家の現状、CSAの意義を訴える

実施予算

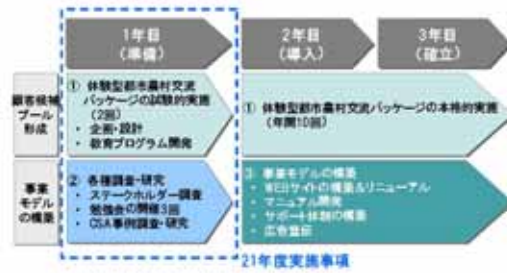
◆ 体験型都市農村交流パッケージ事業

参加費にて自立できる事業に仕立て上げる。
 (想定)1回のパッケージ実行における収支
 収入: 40人x3万円の参加費=120万円
 費用: レストランイベント2回+地域訪問=100万円

◆ パートナーシップファーム事業

(想定)年間収支
 収入: 初期登録料(50農家x1万円) = 50万円
 情報発信料(100農家x500円/1ヵ月) = 60万円
 パートナーシップファーム募集料
 (成果報酬型 30案件x200万円=6000万円x10% ※) = 600万円
 費用: 人件費(月20万円x2名x12ヶ月) = 480万円
 WEBサイト保守(月10万円x12ヶ月) = 120万円
 農子育成費(50頭x500円) = 2.5万円
 ※ パートナーシップファームを募集し、集めた金額の手数料10%を預託する。
 マニュアル提供料、年間サポート料込み

スケジュール



1年目の具体的なスケジュール

◆ 農家ヘアンケートの実施、インタビューの実施

これまで自治体が発行してきたネットワークを駆使し、約50の農家にアンケートを実施
 定量的、定性的なデータを取得・分析し、パートナーシップファームに関する生産者側の意向を調査
 ・パートナーシップファームに関心のある約5の農家に対して個別インタビューを行い、
 定性的な要望を伺い上げる。

◆ 都市生活者ヘアンケートの実施、インタビューの実施

約1,000の生活者にアンケートを実施
 定量的、定性的なデータを取得・分析し、パートナーシップファームに関する生活者側の意向を調査
 ・パートナーシップファームに関心のある約5の生活者に対して個別インタビューを行い、
 定性的な要望を伺い上げる。

◆ 勉強会の開催2回

・生産者と生活者が直接連携しているという先進事例や研究を行っている有識者を招聘し、
 メンバーに対して勉強会を実施

◆ CSAの事例調査・研究

・各支庁や事例の調査・生産者と生活者が直接連携している全国各地の成功・失敗事例の調査・研究
 ・全国CSAの調査・米田在任の農家の2人がネットワークスタッフに、CSAの先進地で有名な単独の事例をレポートアップしてもらう(3回x1地域毎)